

又玄齋南柯撰

東京方角用名所杖

五祥画

全

又玄齋南可撰  
畫工立祥



# 東京方角名所杖初編

此書ハ大江戸の東西南北十二支の方向を分け地理を記し古跡の來歴を説き名所の景を畫き問はる方角を知り居る名所を知る實は獨案内の名所杖且書画共ふ手本を兼る重宝の書也

## 東京方角名所杖

夫武陽ハ封域廣大一々名勝佳境乃繁き枚舉子以のありに公侯の邸宅薨をなぐ信業乃士民袖を連袂くは其縁の紙々一々壁を以て是は小冊子名不舊跡を詳しきに是れ



とも 稚臺 をさか 水 なご 子 てあや 習 えい 下 さう 江戸 かく 方角子  
 神 じん 社 しゃ 佛 ぶつ 閣 かく の 舞 な あ あ る る 子 まか 任  
 せ ら 愛 あい る る 来 らい 歴 れき の 九 きゅう 糸 いと 一 いち 毛 もう 毳 かい  
 記 き も の こ

又玄高述南回



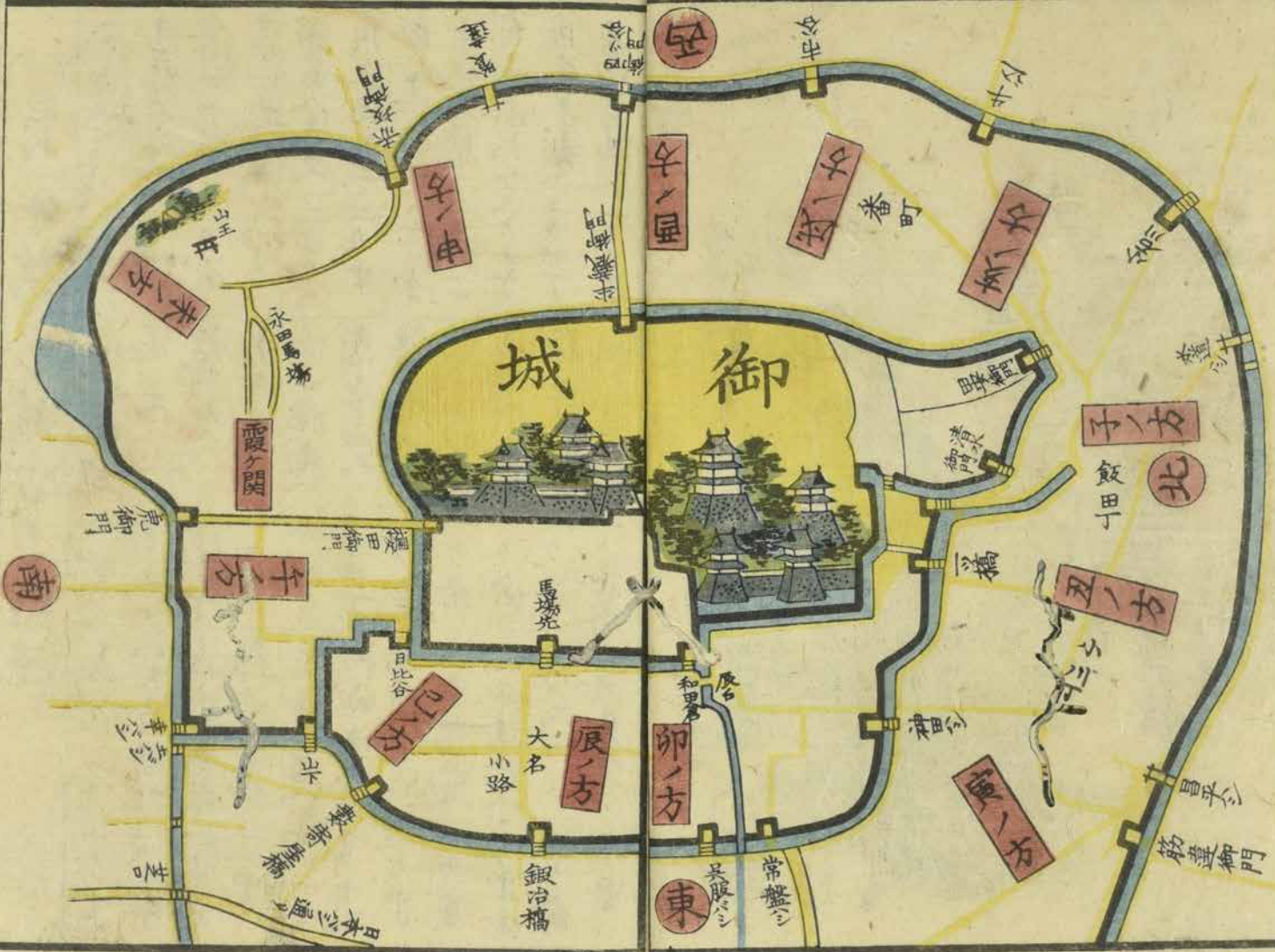
江戸支那村  
江戸大角村



江戸支那村  
江戸大角村

江戸府解林

宝龜堂藏



江戸府解林

○日本橋より諸方向道法

品川へ	二里	羽込白之	一里	吉乳之	一り半
高橋大久	一り八丁	富士へ	一り半	六百石渡	一り十丁
麻布若福寺	一り余	護国寺へ	一り半	龜戸天神	一り余
葛山若光寺	二里	難司若	一り半	柳橋御所	一里
深谷金三	二里	王子稲荷	二里	吾妻坂	一り十丁
目黒不動	二り半	苑寺之	一り半	酒橋坂	一り十丁
池上へ	二り余	深井へ	一り半	隅田川へ	一り半
市谷八幡	一り六丁	東門外へ	一り余	三園稲荷	一り半
目赤不動	一り十丁	洲州御所	一り余	吉橋稲荷	一り半
目白不動	一り七丁	猿若所へ	一り半	吉間へ	四り余
高田馬場へ	一り半	新吉原へ	一り半	鶴の巻	二里



江戸城外

江戸の人々百二代  
 後花園院の御宇

長祿元年若田村参入石道権と云ふ  
 住主千代後天正十八年 江戸高家御宇  
 小あり千代田宝田院とのふ之御あり  
 之御地とある第代不易の基とある

東京方角

江戸八代藩の  
 國守信長使田

建つき難と云ふ其地由色京東の武  
 新世の名のを拂りて五明の月由家か出て  
 家よ入る里氏の姓樂を境のふをうは





東者和田倉  
江戸の  
中央とくまが東の方にある所の  
地名をいふあり和田倉の流のあり

呉服橋常盤橋外田橋ありのり  
見洲あり岸の口の橋あり

# 八代洲河岸に

八代洲の岸の和田倉なる所先づのりありの  
正橋橋をいふ長長の江吳國人名成  
ヤンヨウスとのふりの来船しとの色にてる  
名をいふ



呉服橋  
呉服橋の外の後  
橋あり商家水と並に呉服丁ありのりあり  
少の面じ一石橋ありあり又二町まじり丁橋あり  
丁上橋丁ありのりあり日本橋ありあり

# 日本橋

日本橋の南の入り  
橋の長サ廿八町九尺

の中央ありして橋方の石のり橋と元と  
魚市物市諸屋より入船二六町中  
江戸の人終るこまかく橋の南より冠方  
大船ありて東の東海屋の大船あり





右 杉森稲荷  
右 園

# 杉森稲荷

杉森稲荷  
新井本丁  
おまわりあり

このところお杉の本多くありしより名とま  
水年なる田舎者軍勢を率い  
お門御代のとたこの神を祈りて福利  
を懐町ふまや町の裏ありおあり

# 謹渡

謹の渡は芳場丁か小細丁へ  
渡るところあり葉いままと

橋面いし水橋水の老ら橋の川ありむら  
永兼年る源義朝が妻お延代のとたこの  
雨を渡らんし風波暴ふ死つてとら  
がく遺一紙と能神に捧げて渡ると云



右 謹渡

# 霊巖渡

霊巖渡は今  
新井本丁  
おまわりあり

町ありとのふ面い芳場町東い永代橋へ  
昔雄姿は巖岸和為海汀をつた立一ちと  
造る一巖岸ちとのふ橋の名と名寺の後  
深川へ移りて終町家と名を於て十八所あり



巖岸渡

# 新田嶋

大田空うありと  
は地志て海汀ありと

昌平の化不開け爾号一う又湖橋毎天の  
東の方お平舟新田とあり右名と名丁有  
町とのふ明和の江波除新おをと築お開衆人  
の各ふよと平舟新田と云ふおありと



新田嶋



永代橋



# 永代

永代の小綱町築橋新橋  
 永代の大河を隔て所敷町と  
 源川の橋は永代橋あり長廿八石是七永  
 代橋との間に源川中十海橋あり是新田  
 源村の間に大橋小名源川にありは永  
 代橋より南に芝浦高橋の海あり

# 八幡之拾商堂

源川の橋は永代橋あり長廿八石是七永  
 代橋との間に源川中十海橋あり是新田  
 源村の間に大橋小名源川にありは永  
 代橋より南に芝浦高橋の海あり



間堂



海邊女天

# 例海辨天

あり先あり用基知足院海光文信ふあり  
 光禄十四年死立別高を増福院との  
 海岸の眺を絶糸の地ありは生  
 とのの波ありみ諸人先あり

# 源川靈巖寺

山との八十八檀林の寺あり  
 雄参上人吳岸和為之明替之春四源の後吳  
 岸池か後小移る地あり永代八幡の後小あり  
 寺橋ありは海邊女天丁半路丁のありあり



源川 寺岸



南本所  
小名木  
川

南本所小名木  
本所南本の号あり代川を女  
間流川を流すの川筋を末の

川  
本所南本の号あり代川を女  
間流川を流すの川筋を末の

中川の石橋新あり万寿橋を流す  
むし扇木の川を流すあり

六百羅漢  
本所南本の号あり

本所南本の号あり

六百羅漢の  
六百羅漢の  
六百羅漢の  
六百羅漢の  
六百羅漢の



日比谷  
浄門

浄門  
日比谷浄門の代流河を流す  
浄門の浄門の浄門の浄門の

浄門  
日比谷浄門の代流河を流す  
浄門の浄門の浄門の浄門の

浄門  
日比谷浄門の代流河を流す  
浄門の浄門の浄門の浄門の

浄治橋  
浄治橋の浄治橋の浄治橋の

浄治橋の浄治橋の浄治橋の

浄治橋の浄治橋の浄治橋の  
浄治橋の浄治橋の浄治橋の

浄治橋の浄治橋の浄治橋の  
浄治橋の浄治橋の浄治橋の



浄治橋



# 八丁堀

八丁堀の南あり  
 小のこまあり 西の海城橋松屋橋  
 橋より川あり 南へ本橋丁築地へ  
 橋松屋橋鉄炮洲  
 橋松屋橋鉄炮洲  
 橋松屋橋鉄炮洲  
 橋松屋橋鉄炮洲

# 本挽所

是八丁堀の南あり  
 是七丁同まあり 築地西門の渡し  
 今い様若町ふらふら南の川  
 築地西門の渡し  
 築地西門の渡し  
 築地西門の渡し



# 新橋本廓

本町是所町初者町二丁め三丁め  
 廓内町敷すん丸ヶ町吉押町二丁め  
 本町是所町初者町二丁め三丁め  
 廓内町敷すん丸ヶ町吉押町二丁め

# 新取地



此地へまん為来  
 此地へまん為来  
 此地へまん為来

栄町九町新橋町九町三丁も一丁めより九丁  
 栄町九町新橋町九町三丁も一丁めより九丁

めまてありて  
 めまてありて  
 めまてありて





# 異人居前地

貿易の店とひくくと横をすの番角地と美多  
運上本考のうさ海辺のまゝとんと二合ん  
と定形船松町うりのかさ十一合んくく見高橋の  
角と十二合んく彩あると橋の角と北二合んとするあり

# 保亭前地

外米人の旗酒をり  
万に四十

小田原町の方とむさ裏の南本々町の方とむさ  
海一法此居前地と物とむさ橋の川とむさひとす之



# 正一位橋若狭池

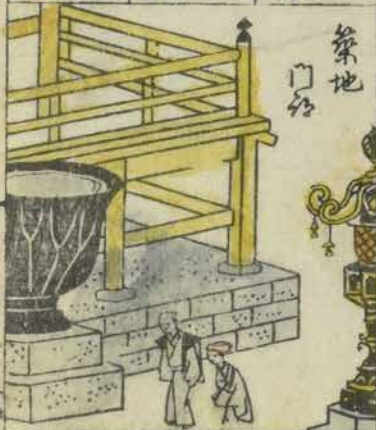
此社橋若狭池湖の橋若狭と云  
南八丁路を河岸あり狭池湖へ  
町見をそらとる下由家号とす入



# 築地門

築地木挽丁より  
東南にあり

築地の内ふまを明徳大火のちまふ後  
未ち九八十八ち系築地西本橋若狭



築地 門

芝口

新橋



芝口金杉

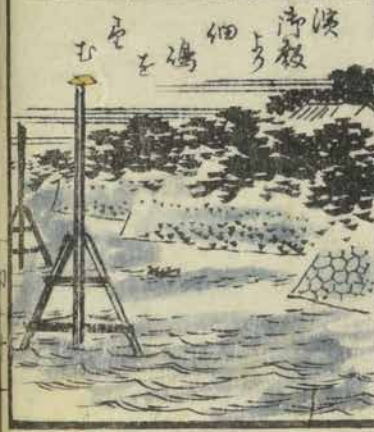
芝口の日本橋が  
品川迄の住還を

日本橋より丁中橋南橋の所と丁宛系橋  
あり芝口根産字をり丁下竹川町出雲丁新  
橋か芝口小舟丁の源助丁南丁深井丁字  
岡丁神明丁濱松丁四町金杉橋字本芝小舟

漢市教佃橋

漢市教佃橋  
本橋丁か

南のあり海邊築物より橋の佃橋の漢市  
の母儀永代か南のあり小舟の白魚の品而て  
志て漢市丁の橋抄佃の漢市佃橋の佃橋を  
りとの橋小同は地をとり一まきり



霞ヶ関



南と霞ヶ関虎渡門

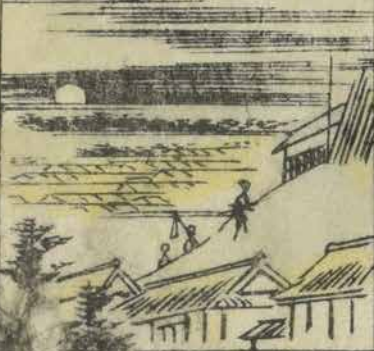
南の方をまき橋田の外の南  
家と抄野家の方の坂ありむじは西東抄  
樹あり武蔵の名所あり虎の渡門の  
橋田と霞ヶ関の南ありまき橋田

江戸見坂

江戸見坂の漏池の  
よき市を流す丁への

今も猶舊の跡まきと足はじとよしの漏池  
南のむねが市まき丁よき市を流す丁への

江戸見坂





# 天徳寺

天徳寺の末代格成りたる間山祿  
 智徳院の末代格成りたる間山祿  
 上人天文二年景剣と云ち申十七才  
 あり豊忠山の後个西久保あり小虎の  
 比門西のまゝは板板葺き下されへあり

# 青松寺

青松寺の末代格成りたる間山祿  
 多南の塘と云ち赤

根三田より山あり格成り東の傍  
 丁神明あり間山徳天和尙文明のそ  
 景剣元貞塚あり寺号万寿寺と  
 久曾旧家江老と云ち寺の一あり



# 芝常

芝常の末代格成りたる間山祿  
 十三年末代格成りたる間山祿  
 院内四方と眺むる芝浦の両帆夕陽映下  
 右の市中眼个中ての中冠さる地あり  
 別あり芝常山寺後教と云ち云に寺の一あり

# 西久保八幡

西久保八幡の末代格成りたる間山祿  
 の方の町名あり

八幡宮は地の結中て石清水八幡と勤  
 徳寺寛弘年中の徳産と云ち毎年八月十日  
 放生会あり南あり川ありと云ち院と云  
 南の芳い版倉亦根南あり小虎ありと云



金地院



金地院

是の塔上りの後切  
色の上之西の方へ飯倉  
六本木ふおる金地院の傍林ふとふふ山の塔  
経中ち領七百名開山と文業和者とのふ元  
来い系初南禅寺の金地院の宿あり  
とのみむりい浄域ありしう

神明

神明丁  
神明丁渡松丁  
小町通り  
神明丁渡松丁  
小町通り  
神明丁渡松丁  
小町通り

年九月十六日  
月十六日  
年九月十六日  
月十六日



神明

烏森稲荷

社地  
烏森稲荷



二塚山場上寺

養老院

芝植林  
院の  
神祖  
神祖



二塚山  
場上寺



三田  
春日

# 三田春日

三田の春日寺より  
西南のりる地名  
三田の春日寺より  
西南のりる地名  
三田の春日寺より  
西南のりる地名  
三田の春日寺より  
西南のりる地名

# 魚籃

魚籃のりるる  
三田の春日寺より  
西南のりる地名  
三田の春日寺より  
西南のりる地名



魚籃  
観音

# 東海寺

東海寺のりるる  
三田の春日寺より  
西南のりる地名  
三田の春日寺より  
西南のりる地名



# 赤坂の春日

赤坂の春日  
三田の春日寺より  
西南のりる地名  
三田の春日寺より  
西南のりる地名

赤坂の春日  
三田の春日寺より  
西南のりる地名  
三田の春日寺より  
西南のりる地名





山王  
祭礼



# 山王

山王の神社(伊予国)の湯治  
 伊予国吉田郡山王の神社  
 六百石別荘の坊主(湯治)の湯治  
 江戸第一の天社(伊予国)六月十日(伊予国)の湯治  
 東第一の天社(伊予国)七月十日(伊予国)の湯治  
 社殿(伊予国)にて石の湯治(伊予国)の湯治

# 湯池

湯池(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 水(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 湯池(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 湯池(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治



# 泉岳寺

泉岳寺(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 泉岳寺(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 泉岳寺(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 泉岳寺(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治

# おのゝ湯

おのゝ湯(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 おのゝ湯(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 おのゝ湯(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 おのゝ湯(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治

おのゝ湯(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 おのゝ湯(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 おのゝ湯(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治  
 おのゝ湯(伊予国)の湯治(伊予国)の湯治





# 二本榎

是の榎り坂よりなるよ  
 の榎水町あり南を  
 流るる川ありは知そのむろ一里塚あり  
 より先の車回海と今その東あり地  
 名とあるのさ南所い今榎のさちあり  
 こそより相模を中大山ちりるあり

# 羽川幸申雲

よりの榎海日本橋が二里在り海汀漫と一  
 く幸申雲ふるこれ右ふの山海津敷山の榎  
 地は附榎の地ん 幸申雲の今古文ありあり  
 右子雲の江入宮ありと今古文ありあり



# 月ヶ産六本木

湯池の南へある若町あり六本木日ヶ産  
 とあり榎の内へ東へ坂あり名を産下南を  
 流るる川あり南の榎水一木雲  
 産下南を流るる川あり南の榎水一木雲  
 産下南を流るる川あり南の榎水一木雲



# 榎田長坂

榎田長坂あり榎田あり榎田あり榎田あり  
 榎田あり榎田あり榎田あり榎田あり



榎田あり榎田あり榎田あり榎田あり  
 榎田あり榎田あり榎田あり榎田あり





瑞雲寺



# 白根瑞雲寺

瑞雲寺  
白根

西の方之号小長山丁以入坂目名ふ瑞雲寺  
古川宗雲山と号く因山本名わ高寛文年  
中の造立ありこの寺は入坂の上ふ田吉見  
の兼持あり不二の胎を以て舟とてま

# 目黒不動

泰成山瑞雲  
かとの入江を

不動の二の目黒武蔵と号るとあり天和  
年中と迄の古名あり一雲塔ゆき塔七  
ま不動の具徳網の中より花びか流水の  
よふまよふふふ不動の具徳あり



# 池上



願石名開山日蓮上人の入皇九代後  
宇美天皇弘安年中基創あり日蓮  
上人入滅葬送の地より墓所甲別  
号せし山名納むとあり

# 申の方赤坂

赤坂の  
申今

豊後郡の赤坂の外の外と傳ふ丁田舎  
丁田舎の塔の相島との名傳ふ丁二の赤坂  
みゆかち山名あり其の百人丁乃赤坂あり西の  
田原殿の福多治と名あり其の赤坂を遠く出



江戸方角文

東美堂藏



# 氷川明神

此社七小六の宮  
と久別為大宮

此社は武彦國一の宮ありふあり七あり八あり九あり  
神事最盛焉命文己貴命青楊田部乃之  
彦あり敷敷の川よ老大地を返治ありふ  
よる氷川と号くと多し伊奈六月十五日と

# 茶研坂金山寺塔

## 本

此史の如くなるのは茶研の寺あり  
坂の寺あり  
金山の元末金山の寺あり

多し史の如く茶研の角に千法寺あり  
明の寺あり金山の寺あり



# 滋谷金王楼子

今丹是金王楼の寺あり  
樓子の寺あり丹の甲列佛あり

# 角者鞠町天神

角の方角者外に角者の寺あり  
平川天神の寺あり

二月は天日宮林有画  
二月は天日宮林有画



江戸方角丈

巴 桃 園



# 巴 桃 園 較 稿

巴園の右ふり又藤町十丁目あり門をのり  
奥を外とまては巴園といふ桃園は巴園の末ふ  
ま中野のまを影を桃較稿稿といふと  
まのまのふり月日といふり

# 権田 東大久保

ま山の角ありむし権田なる園めといふ人  
住居の地よりとま久保の大宮ふゆる牛  
はと市若の境より尾物屋外山は香  
ひのまの成り



権田 東

# 成 方 市 若 八 幡

成の方と市若は巴園のふり八幡の  
日西町あり別當の東花山寺あり  
文明年中 建立大永年間云云不波  
と色と巻長の源主馬運再興



# 番 町

番町は市若のふり八幡の  
番町と市若のふり八幡の

丁と表表をたふふの番町あり東西十  
六丁南の七八丁の番町あり巴番方の武  
家屋敷と綴りし名ありといふ今由  
番町と市若のふり八幡の中あり



番町 四  
番町の末

不恒  
長谷



不恒長谷河田之窟  
東所早務田  
市若尾別荘  
以長谷下外て

不恒長谷と云○河田之窟注系河早務田との外  
牛込の用へたる名をいふものぞ

# 穴八幡

穴八幡の窟は八幡社人良昌傳説に因りて  
志くは穴八幡の窟と云ふと云ふ  
穴より穴傳説は穴八幡の窟と云ふ  
穴八幡の窟と云ふは穴八幡の窟と云ふ

牛込の東を田舎村に在り  
穴八幡の窟と云ふは穴八幡の窟と云ふ



穴八幡  
舊跡

目白不動

舊地



# 目白不動

目白不動の窟は東豊山新長谷寺  
と云ふは穴八幡の窟と云ふは穴八幡の窟と云ふ  
湯屋山あわさる二窟を彫刻一窟の窟に  
穴八幡の窟と云ふは穴八幡の窟と云ふ

# 穴八幡

穴八幡の窟は東豊山新長谷寺  
と云ふは穴八幡の窟と云ふは穴八幡の窟と云ふ  
湯屋山あわさる二窟を彫刻一窟の窟に  
穴八幡の窟と云ふは穴八幡の窟と云ふ



穴八幡  
舊跡

和名所

梅

桜

山吹

萬壽

東

東 京 府 方 南 名 所 杖 初 編 終

菖

牡丹

杜若

蓮

萩

紫州

橘

松

松

松

松

東京府 書林

中橋東中通り下横町

大和屋喜兵衛板	山口屋藤兵衛	森屋次兵衛	英文藏	須原屋伊八	和泉屋金右衛門	出雲寺萬次郎	須原屋茂兵衛	山城屋政吉	山城屋佐兵衛	和泉屋市兵衛	岡田屋嘉七
---------	--------	-------	-----	-------	---------	--------	--------	-------	--------	--------	-------

梅 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

桜 山吹 萬壽 東 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

梅 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

桜 山吹 萬壽 東 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

山吹 萬壽 東 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

萬壽 東 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

菖 牡丹 杜若 蓮 萩 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

牡丹 杜若 蓮 萩 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

杜若 蓮 萩 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

蓮 萩 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

萩 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

紫州 橘 松 松 松 松 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

橘 松 松 松 松 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

松 松 松 松 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

松 松 松 松 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

松 松 松 松 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅

松 松 松 松 白梅 紅梅 黄梅 紫梅 綠梅 黒梅 赤梅 青梅 藍梅



唐石邑三碑記  
三碑記

碑與為金石記

碑文後印也

明正德年